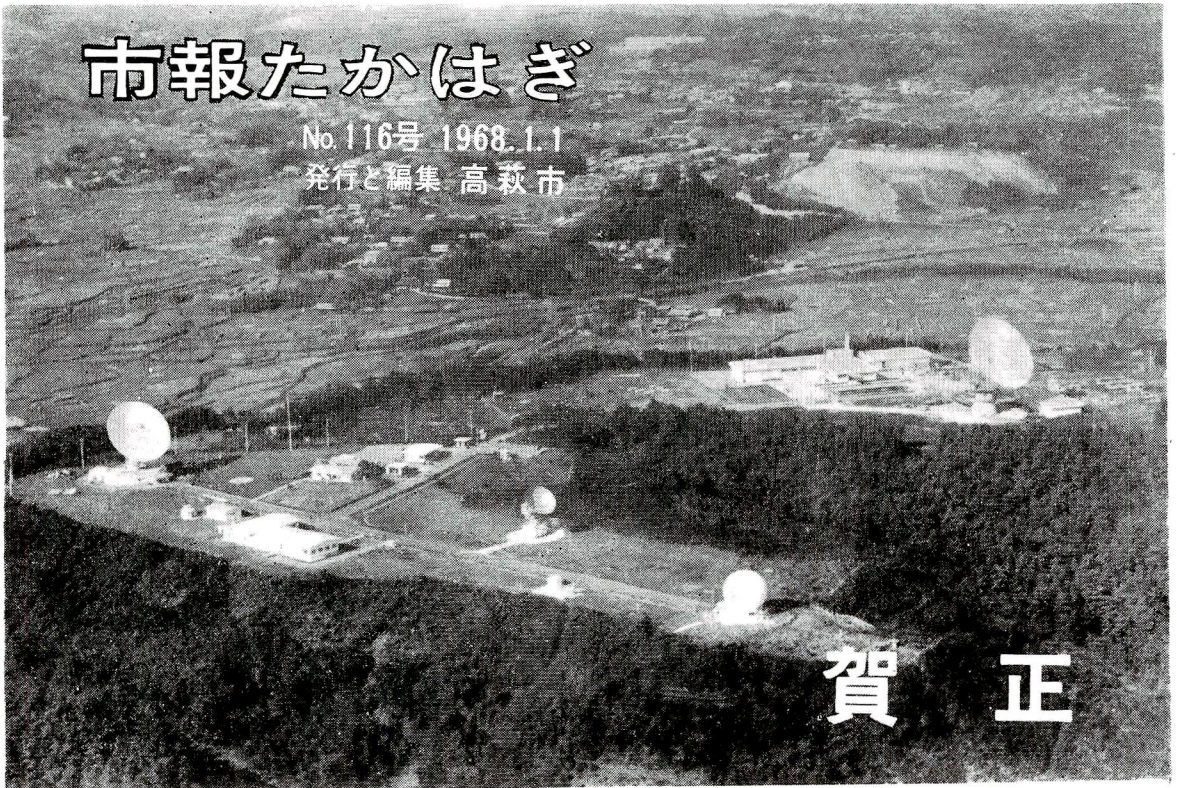


市報たかはぎ

No.116号 1968.1.1

発行と編集 高萩市



賀正



市民のみなさん、明けましておめでとうございます
昭和四十三年の輝かしい新春を迎えまして
みなさん
とともに
栄えゆく
市の将来をことほぎあわせ
て市政の伸展をお祝いで
きますことは、私の心から喜
びとするところでありま
すかえりまして、みな
さんすでにご承知のとおり昨
年は未曾有の大豊作であり
全国で一千四百三十万トン
を記録しましたが、わ

市民生活向上のために献身

市長 安村 篤

が高萩市におきましても、供出三万俵を突破いたし、私どもは、そのよろこびをみなさんとともにわかち新春を迎えることができたことは、ご同慶のいたりであります。一方本市の基幹産業であります石炭の高萩炭鉱が閉山いたしましたことは、私も市民にとりまして、かなしいできごと

著しく反映いたしますので市民の将来の幸福を念頭において、ご期待にそうよう万全を期して、昨年築きあげた礎石の上に、更によりよい市政を運営するために全員心をひとつにして市議会と緊密な連携をとりながら、一歩一歩確実に、市民生活向上の実現に献身いたす考であります。

でありました。

さて、本年は明治百年にもあたりますので、本市といたしまして、これを一段階として市政の発展のために市議会と相計り、市民福祉向上のため鋭意努力する所存であります。事の良否はただちに市政のうえに

高萩市政に対して従来にかわれぬご声援を賜わりますようお願い申し上げます。最後にみなさんのお健康とご幸福を心からお祈りして新年のごあいさついたします。

事項が累積しております。これら、山と積まれた課題の解決のためには、執行部の施政に対する熱意を期待し、更に鞭撻して参る所存であります。



都市開発への黎明期

議長 吉田 秀吉

昨年、ご承知のように高萩炭鉱閉山という、本市にとつて、思わぬ不振に見舞われましたが、今年こそは、都市開発の前提事業としての花貫ダム建設が緒につく年であり、それに伴う

昭和四十三年は正に都市開発への黎明期であり意欲ある市政の実現に向つて前進する覚悟であります

明けましておめでとうございます
議会を代表して一言年頭のご挨拶を申し上げます。
今回の議員定数削減を契機として、議員みづから、姿勢を正して、議員本来の職責に向つて活動をつづけ

上水、工業、かんがい用水事業を起し、併せて団地の造成を図つて、積極的に企業誘致を進める等、或いは農業振興対策、学校建設その他市民の要望する幾多の

ますので今後尚一層市民の皆様との深いご理解とご協力を願ひ、併せて、皆様の益々ご健康とご多幸を心から祈念申し上げます新年のご挨拶いたします

最近家族主義の必要性を年寄りからだけでなく、若い人たちの間からも聞きます。というのは戦後個人の独立が認められた結果あまりにも家族が細分化されてしまったため、病氣、失業など一朝事あった場合、たちまちにして家庭の機能がマヒし、崩壊してしまうからです。そこで家族助け合いの家族主義への要望が出てくるわけですが、こんごの家庭のあり方にとつても重要な問題ですので、家族法の中山善之助教授（学習院大学法学部長）のご意見をうかがってみましょう。

しかし、物質的な援助はできなくても、せめて精神的な援助の心だけは近親間で持たたいものです。中山教授は「家族主義は、経済的な援助ができなければ、精神面だけでもよい。人間はひとりで生きられるものではない、やはり近親の共同愛は必要である」といつています。経済面

家族の細分化に反省

中山善之助 学習院大学法学部長

は社会保障ということになりませんが、現状では期待できません。精神面だけでなく、物質的にもイザという場合依存しあえる家族主義を求める声が起つてきているようです。

ことは戦前の家父長制の權威主義の復活です。家族の助け合いを基盤にして、戦前の家父長制がアタマをもたけてこないとも限らないからです。戦後二十年、せっかく家庭内で育ちはじめた民主主義の芽をつむぐことのないようじゅうぶん注意しなくてはなりません。

と中山教授はいましめています。

一方、「家族主義に安住せず、個人はもつときびしく社会と対決せよ」また家族に寄りすがつていないで一度外へおつぽり出されて孤独感を通して自分を確立していくことにより、はじめてお互いに人格を認めあうことができるのではないかと主張しています。

「老人にも『さびしいだろう』などとやたらに同情する必要はないと思う。それよりむしろ、年寄りにでもできる仕事を与えるとか、生きがいを見つけてあげることである。自分の趣味や職業を通じて、自分の世界観といふものを持つて自分を支えていければ、外見は孤独そうな老人でも、内面的には非常に豊かになる」

人間、情緒も必要だが、それにおおられないようにと忠告をしています。

保存血液がピンチに 献血にご協力下さい

ご存じかも知れませんが血液は合成することは出来ません、人間の血液は人間の血液でござい以外に方法がないのです。もし万一あなたやあなたのご家族、同僚知人の方が輸血を必要とするとき輸血用血液がない時ほどじめなことはあります。輸血は一刻を争います。血液が足りないために不幸な結果を招くことさえあるのです。献血は満十六才以上六五才未満で健康な方ならどなたでもできます。採血前に医師が綿密な健康診断を行いますので心配はいりません。茨城県では一年間に約七、〇〇〇リットル（保存血液三五〇〇〇本）の保存血液が輸血用に使われております。献血の受入れは現在茨城県血液センターで行なつておりますが愛の献血車「しらうめ」号が月一回市役所保健所へ

所へ皆さんの献血をおうけするため参つております。学校、工場ぐるみ献血していただければ献血された人員分の血液を常に確保しております。もし職員や学生生徒の中で輸血を必要とする事故が発生した場合血液センターでは必要なだけの健康な献血の保存血液を責任をもつてお届けします。勿論献血されるときは「しらうめ号」が学校、工場にお伺いします。また献血して下さった方には献血手帳をさしあげます。献血手帳をもつていきますと将来病氣やけがをしたときには直ちに同型の健康な献血の保存血液をお届けします。

茨城県赤十字血液センターの献血手帳は全国どこでも共通です。

献血の申込みや問合せは市役所保健衛生課又は高萩保健所へ

高萩市リーダース

高校生会を結成

十二月十七日市役所において高萩市リーダース高校生会が結成されました。

この会は子供会に関心を持つている市内の高校生で

な子供会の行事などで高校生の指導を受けたいたきは福祉事務所社会係にご連絡下さい。

役員

会長 高萩高校三年 藤原ひろ子

副会長 水戸農高二年 伊藤 忠平

書記 高萩工高二年 竹内 雅昭

高萩高校三年 大森久子

會計 高萩高校二年 鈴木 文江

高萩高校 大高 通洋

監事 茨城高校一年 佐藤 孝守

高萩高校三年 渡辺 泰子

工業統計調査にご協力下さい

ことし十二月三十一日現在で工業統計調査が実施されます。

この調査は、製造業の事業所を対象に民間企業の経営状況の実態を明らかにし行政の有意義な資料として活用するために調査されます。

一月初旬には、調査員が調査票記入をお願いいたしますので、ご手数ながらこの調査の趣旨を充分ご理解下さいましてご協力をお願いいたします。

新入学児の健康診断 は必ず受けましょう

今春四月に小学校へ入学される子供さんの健康診断が一月中に各々の小学校で行われます。この健康診断は市教育委員会が学校保健法に基づいて実施するもので、入学前にあらかじめ入学予定者の健康状態を把握し保健上適正な就学を図ることを目的として行われます。診断内容については各保護者宛に発送した通知書に記載されている通り知能検査、内科、眼科、歯科、その他全般にわたって行われます。

昭和四十三年度小学校入学該当者は昭和三十六年四月二日から三十七年四月一

保育所児童入所案内

保育所入所児童を募集いたしますから希望者は申請書を提出されるようお知らせします。

才未満児十二名、四月厚生大臣の認可を受け開園する予定)

いすが三才以上児の最高は三、八一〇円、三才未満児は八、六五〇円です。

申請受付期限 昭和四十二年二月十日

提出先 市福祉事務所社会係

申請書は関係書類は福祉事務所社会係より受領下さい

各世帯の所得によって違

保育料

各世帯の所得によって違

各世帯の所得によって違

各世帯の所得によって違

各世帯の所得によって違

日迄に出生した者及び昨年病氣等で就学猶予した者が該当致します。この調査は昨年の十二月一日現在で住民登録を基にして調査しその後他市から転入してきた方や市内で住居移動をした方については一応十二月末日再調査をいたしました。もし調査漏れで通知の届かない時は事前に市教育委員会へご連絡下さい。

就学時健康診断の日程

松岡小	一月十七日
上君田小	一月十八日
下君田小	一月十八日
横川小	一月十八日
東小	一月十九日
高萩小	一月二十三日
秋山小	一月二十四日



二、一日より幼稚園へ申込を市立第一幼稚園では園児募集を次の要領で行います。

市立幼稚園園児を募集

一、募集人員 一二〇名
二、応募資格 当市内に居住し、昭和三十七年四月二日から昭和三十八年四月一日までに生れた者

一、応募手続 保護者は所定の入園願に幼児両親の住民票抄本一通を添え本園へ提出する。
二、入園許可の条件 幼児の身体が強健であること。
三、伝染性疾患を有しないこと。

選挙管理委員再選さる
さる12月定例会議会において、選挙管理委員会の委員及び同補充員がそれぞれ四名選ばれました。当選した選挙管理委員は次のとおりです。

神長 吉衛	58才
(大和町二の三番地)	
細金 繁	59才
(大字赤浜六三番地)	
広木 允明	55才
(大字若栗一三八番地)	
沼田 章	67才
(大字秋山二一六三番地)	

なお12月22日選挙管理委員会を開き委員長に神長吉衛氏、職務代理者に細金繁氏が選任されました。

助け合い運動に3万円 高萩ライオンズクラブが贈る

高萩ライオンズクラブ(鈴木重光会長、会員49名)の代表は12月7日市役所を訪れ「歳末助け合い運動のために使ってください」と現金3万円を贈った。

このあと同クラブは市の養護施設臨海学園(遠藤光静理事長)に2万円を贈った。

茨城100年写真集を募集

- ☐ 明治百年を記念して
- ☐ わたしたち郷土の歴史をものがたる古い写真を募集しています
- ☐ 掲載者には写真集ができたらすぐお送りします
- ☐ 送り先 茨城県県民室
- ☐ 締めきり 昭和43年3月31日

1月15日は成人の日

みんなの参加を
待つております……

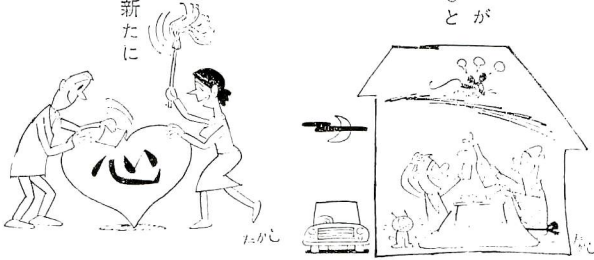
明けましておめでとうござ
います。

新春を迎え、すこやかに
成人されたみなさまがたに
心からお祝い申し上げます
一月十五日には、皆様を
招待し、社会人として晴れ
の門出を祝福致したいと存
じますのでご出席下さるよ
うご案内申し上げます。
日時 一月十五日(月)
会場 高萩市公会堂

日程受付九時三十分より
開式十時三十分

市内在住の方には、年賀は
がきで招待状をお送りしま
したが、高萩市出身で、当
日帰省している方がありま
したら、成人式にお出下さ
るようお知らせ下さい。そ
の方はなるべく事前に電話
その他で、教育委員会へ連
絡願います。本年の該当者
は昭和二十二年四月二日よ
り昭和二十三年四月一日ま
でに出生した
方です。

まあまあ
一杯くらいが
大事故のもと



新年
さあ心を新たに
して

成人者は
献血運動
にご参加
下さい

茨城県赤十字
血液センター
では愛の献血
運動を実施中
です。社会人
としての出発
を記念して、
この愛の献血
に参加される
ことをおすす
め致します。
当日、の採血
車が、バス会

高萩市駅伝大会

盛大に行われる

高萩市駅伝大会は毎年十
二月、才二日曜日に行なわ
れることになっているが、
今年も十二月十日(日)才
十六回大会が行なわれまし
た。六号国道の交通量が最
近特に増大し危険を感じま
したので大会運営の万全を
期するためコースの大巾変
更を行ない市役所、関口、
秋山の円形コースを二周す
ることにして三十四軒の新
コースを設定しました。こ
れから当分の間はこのコー
スにより毎年実施するわけ
場に来ることになつていま
すが、予め希望者数を知り
たいので、献血希望の方は
一月八日迄に教育委員会に

ですが、この新コースを記
念して、一般の部には市長
杯、高校の部には議長杯、
中学の部には体育協会長杯
がそれぞれ寄贈されました
今後各学校や職場より多く
のチームの参加を希望する
次第です。

成績

一般の部 ①日本加工製紙
A1時間51分56秒②日本
加工製紙B③松岡OB④
上君田青年

高校の部 ①高萩工高1時
間53分0秒②高萩高定時
制③高萩高A④高萩高B

中学の部 ①高萩中A1時
間53分28秒②松岡中A③
秋山中④君田中



体験談募集の
お知らせ!!

「わが家の
家計簿体験」

茨城県貯蓄推進委員会では
貯蓄運動の一環として次
の要領により「わが家の家
計簿の体験談」を募集して
います、多数の応募を願ひ

消費生活改善監視員……
これが消費生活モニターの
正式の名称、毎年通産大臣
から委嘱され、苦情処理制
度の受け付け窓口になつて
います。

消費生活モ
ニターは通産
省の委嘱とい
うこともあつて、その処理
する苦情は通産関係に限ら
れている、たとえば繊維、
被服、合成樹脂加工品(ポ
リバケツなど)家庭電気製
品、雑貨工業品(魔法び
ん、合成洗剤など)とい
つたものが対象。
これらの製品は家庭用品
品質表示法によつて内容の
表示や使用上の注意書きな
く、そう「ウソツキ商品」
商品などが苦情の対象にな
ります。
市内では次の方がモニタ
ーに委嘱されており、
高萩市春日町二の五七、
村田くり子(電話三二六
七)へ電話、
手紙でもよく
直接不良品を
持ち込むのもよいです。
泣き寝入りは禁物です。
生活モニターを利用し「ウ
ソツキ商品」をなくしまし
よう。

- ます。
- 内 容
- ▽家計簿をつけ始めた動機
 - ▽記載上の苦心談
 - ▽家計簿で発見したムリやムダ
 - ▽家計簿をもとにしたこれからの明るい生活設計
 - ▽グループによる家計簿記帳の勉強ぶりなど、家計簿記帳に関するものならなんでも自由
- 原 稿
- 本文は四百字詰用紙五枚以内、本文のほか最近三か月の記帳内容のわかる簡単な表を添付のこと
 - 原稿には住所、氏名、年令、同一家計でくらす家族名など記載のこと
 - 封筒の表面に「家計簿体験談」と明記のこと
- 募集期間
- 昭和四十二年十二月一日から四十二年二月二十九日
- 入 選
- 特 選 三編 各三万円
 - 秀 作 七編 各二万円
 - 佳 作 四十編 各五千元
- 外に記念品、応募者には四十四年用「あかるい生活の家計簿」贈呈
- 送付先
- 水戸市三の丸茨城県地方課内
- 茨城県貯蓄推進委員会あて